

藤波こども園

令和4年度 園長だより No.10

令和5年3月14日

文責 澤 悦弘



旧 藤波幼稚園



現 藤波こども園

令和4年度 あとわずか

吹く風に少しずつ春の気配を感じる頃となりました。月組の子どもたちはいよいよ卒園となり、星組や花組、雪組、桃組の子どもたちも進級を迎えようとしています。一緒に過ごしたお友だちとの別れを惜しんだり、4月からの新しい生活に向けて準備をしているところです。保護者のみなさまには園の活動にご理解やご協力をいただき、ありがとうございました。

年長児が年中児を案内

～月組と星組との遠足～

月組の子どもたちが何度か出かけた「くつきの森」に、月組と星組が一緒に出かけることを計画しました。でも、子どもたちには「3月になったら何をしたい?」と投げかけ、子どもたちからの「くつきの



森に行きたい」「星組の人も行きたいと言っていた」「星組の人も誘ってみよう」の声が上がり、

月組の子どもたちから星組の子どもを誘う形で実現しました。現地では月組の子どもたちが星組の子どもたちに「一本橋」や「鹿のブランコ(鹿の角の形をしたつる)」、「ジェットコースター(適度な傾斜で駆け下りることのできる斜面)」、「アカハライモリの池」などを案内していました。遊び終えた

後、捕まえたいきものを元の場所に戻してから帰ることもしっかりと伝えていました。



仲間との絆を確かめ合った

ホームお別れ会



月組の子どもたちの卒園を控え、各ホームでお別れ会を行いました。一緒に遊んだり、散歩に出か



けたりした後、各部屋では月組の一人ひとりに、星組・花組の子どもたちが用意したプレゼントが

渡されました。プレゼントをもらった月組の子どもたちは「準備してくれてありがとう」「さみしいけど、星組や花組のみんなのことは忘れないよ」と別れを惜しむ姿がありました。その後、みんなで園庭に出て一緒にお弁当を楽しんでいました。



4月からはホームで生活 雪組の子どもたち

雪組の子どもたちは4月からは花組となり、ホームで生活することになります。その準備として、先日からホームを訪問し、お兄さん・お姉さんと交流しています。ホームに置いてあるおもちゃなどに興味津々のようで、4月からの新しい生活が待ち遠しい様子でもありました。



万が一への備え 見事です ～避難訓練に取り組む子どもたち～

2011年(平成23年)3月11日、東北地方を中心に多くの方が犠牲になり、毎年、この時期には当時の状況や震災の教訓が報道されます。藤波こども園では地震や火災、不審者対応などの訓練を毎月行っていますが、市からのJアラートも含め、子どもたちは見事な避難の姿を見せてくれます。先日は



夕方の時間帯に火災を想定して訓練を行いました。火災発生の放送が入る直前まで遊んでいた子どもたちが、放送が入るやいなや、保育者の付近でしゃがみ、一言もしゃべらずに次の指示を待っていました。

令和4年度PTA役員さん ありがとうございました 令和5年度PTA役員さん お世話になります

2月18日のPTA役員会で、新役員の方の分担と旧役員の方からの引き継ぎを行っていただきました。来年度の組織は次のようになります。



会 長	貫井亜紀さん
副会長	青井早紀さん、西村麻未さん
庶 務	田村恵利さん
会 計	飯田理沙さん
広 報	奥村翔子さん、金谷紗也子さん
研 修	小島恵美さん、青井早紀さん

お世話になります。令和4年度の役員さんには一年間お世話になり、ありがとうございました。

PTA研修・講演会

令和5年5月19日(金)13:30～

講師: 佛教大学副学長

原 清治 先生

子どもたちの今後のために今、幼児期に必要なことなどをお話いただきます。是非、ご予定にお入れください。

園庭の整備 お世話になりました

市より「緑の募金」からの苗木をいただき、園庭に植えました。その準備のために上小川の志村昌治さんと澤井保さんにお世話になり、土を搬入いただいたり、重機で地面を掘り起こしたりしていただきました。ありがとうございました。



